

ふるさと文化



もくじ
2P: おもな催し
3P: 近隣文化施設の催し 文化の語るまち
施設からのお知らせ
4P: ふるさと
「カムイと生きる」先行上映会情報

新年スタート 消防出初式

県内トップを切つて門川町消防出初式が1月4日(水)8時から海浜総合公園で行われます。4分団14部から約230名の団員が参加。規律正しい分列行進、消防功労者表彰などに続き消防車両全14台による一斉放水が行われます。ふるさと門川の災害予防活動に取り組む団員の勇姿にご声援ください。

ウォーキングで ふるさと探索

国道10号線からかがわ温泉心の杜に向かう途中にある農産物直売所「遠見の里」にウォーキングステーションが開設されました。コースは地域の農産地を知つてほしいというコンセプトから「産地ウォーキング」として設定されており、コース上の案内板では生産者の顔写真付きで周辺の農産物も説明

され、美しい景色だけでなくふるさとの農業を知ることができます。遠見の里では現在50、60人の生産者が出品しており、季節の野菜や果物がとろとろせましくと並べられ冬の味覚が盛りだくさん。寒い冬こそ栄養・運動・休養のバランスを。町内にはほかにもまだまだ見どころはいくつもあります。手軽に取り組めるウォーキング、自分だけのふるさとの風景を探してみたいかが。



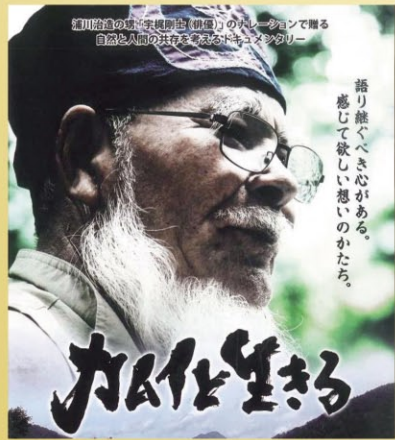
浦川治造の甥「宇梶剛士(俳優)」のナレーションで贈る自然と人間の共存を考えるドキュメンタリー映画

「カムイと生きる」

本財団のアドベンチャークラブの子どもたちにアイヌ民族の丸木舟(チブ)づくりや小屋(チセ)づくりなどアイヌの伝統文化を体験・紹介してくれた浦川治造さんのドキュメンタリー映画がこのほど完成しました。当時の子どもたちと浦川治造さんとの交流の様子が写真で紹介されています。

また、これまで少数民族の伝統文化や音楽を紹介していただいた大野遼(NPO法人ユーラシアンクラブ代表)さんのお話も交え、これまで門川で多くの方々と交流やアイヌのお話を聞かせて頂いた浦川治造さんの人間性が伝わってくるドキュメンタリー映画です。

写真は平成15年度からの「アイヌ民族の伝統文化体験」アドベンチャークラブ参加の子どもたちとアイヌのお祈りカムイノミをする様子

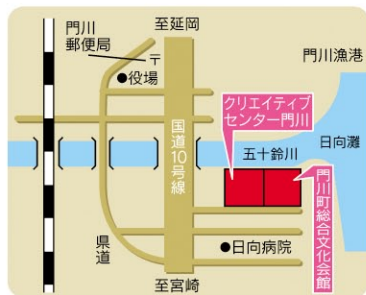


数々の武勇伝を持つ男「アイヌの治造」こと浦川治造、その屈強な体躯・トレードマークと呼ぶに相応しい白く長い髭は、見るものに強烈な印象を与える。親しい人々や治造本人によって語られる数々の逸話や想い出。様々な言葉の隙間から、浦川治造の価値観や想いが見えてくる。アイヌとして生まれ、アイヌとして育ち、アイヌとして生きる治造の暮らしは常に自然と共にある。治造が先人から受け継いだ知恵、生き方。治造は常に自然を敬い、自然への感謝を忘れない。アイヌ民族は動植物や自然現象など、あらゆるものに「カムイ」が宿っていると考えている。自然に生かされ、自然と共に生きる。治造の「カムイ」への祈りは強く、深く、自然に対する想いに溢れていた。治造の暮らしに触れ、言葉に深く耳を傾ければ、現代に生きる我々が忘れかけている大切なものが見えてくるかもしれない…。

門川町特別上映会 2月19日(日)

お問い合わせ:0682-63-0002 門川町総合文化会館

月刊広報
ふるさと文化
編集・発行/財団法人門川ふるさと文化財団
協賛/門川町・門川町教育委員会
門川町総合文化会館の自主文化事業は門川ふるさと文化財団の入場料等の事業収入と門川町からの財政支出により実施されています。



編集後記
▽昨年は日本国内、宮崎県内でも多くの震災に見舞われましたがその反面、復興の支えとして重要な役割を果たした芸術文化やスポーツの持つ力を再認識した年でした▽これから地域と文化の「つなげ役」として働いていければとおもいます。(森)

